

# 令和4年度 教育行政点検評価報告書（案）

## 《令和3年度 取組事業概要》

伊賀市教育行政評価委員会

## 令和4年度 伊賀市教育委員会の点検及び評価の概要

### 1. 経過及び目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに公表しなければならない。」となっています。

教育委員会は、この法律に基づき、教育に関する施策について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

### 2. 点検・評価の方法

令和4年度教育行政評価は、伊賀市総合計画の教育関連施策や教育委員会が策定した、令和3年度教育方針に掲載し実施した施策や事業・業務を対象としました。

点検・評価については、事業担当課が作成した令和3年度実績による事務事業評価シート及びヒアリング、その他資料に基づき行いました。

点検及び評価の内容は次のとおりです。

### 3. 総評

社会情勢が大きく変化をする中、改めて各事業の分析を行い、既成の枠にとらわれることなく実態に即した事業推進により、教育環境の更なる充実を図るよう努められたい。

#### 教育行政評価委員

氏名	所属・職名等
委員長 藤本 久司	元三重大学人文学部准教授
副委員長 加納 圭子	元学校教育課長、元中学校長
委員 伊室 春利	元伊賀市教育委員会事務局職員
委員 西嶋 克司	文化財保護指導委員
委員 岡山恵美子	元図書館協議会委員
委員 岡山 幹治	青少年健全育成市民連絡会議副会長

#### 事業担当課ごとの点検・評価対象事業数

担当課	教育総務課	学校教育課 (給食センター)	生涯学習課	公民館
事業数	7	13	6	1
担当課	教育集会所	文化財課	図書館	計
事業数	2	10	7	46

#### 教育行政評価委員会の開催状況

日時	場所	内容
8月29日 13:30~17:00	伊賀市役所201会議室	*評価方法及び評価対象事業の確認 *評価対象事業の説明
10月3日 13:30~ 15:00	伊賀市役所404会議室	*評価対象事業の評価・意見等の調整
10月24日 13:30~	伊賀市役所203会議室	*教育行政点検評価報告書の内容確認

# 努力目標評価シート

# 教育総務課

施策	努力目標		取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
					令和3年度実績値	令和3年度目標値	
子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校、神戸小学校、比自岐小学校の統合協議を行った。校舎改修工事の設計業務委託及びアスベスト調査を実施し、工事に着手した。	進捗率50%	進捗率50%	継続
		2	学校(園)施設の整備充実	緑ヶ丘中学校大規模改造	* 校舎の大規模改造工事(建築主体工事、機械設備工事)を行った。	進捗率80%	進捗率80%
	城東・上野南中学校武道場吊天井耐震対策		* 吊天井の耐震対策工事を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了	
	阿山中学校空調設備更新		* 老朽化による空調設備の更新を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了	
	3	GIGAスクール構想の推進	GIGA端末保守サポート業務	* 端末運用サポートや年度更新を行った。	進捗率100%	進捗率100%	継続
	4	修学の支援等	奨学金支給	* 支給要件に合致する申請者に、運用する奨学金を支給した。	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	継続
			中学校クラブ遠征参加補助	* 中学校体育大会や文化関係行事参加者の旅費に要する経費を補助を行った。	参加者負担に対する補助割合100%	参加者負担に対する補助割合90%	継続

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 校区再編事業の推進	<p>○新たに統合される上野南小学校校区が広域となるため、スクールバスの路線や乗降場所等については児童の安全を第一に、保護者や地域の要望に対しても十分配慮したうえで検討されたい。</p> <p>○通園バスに保育園児が置き去りにされ、死亡するという痛ましい事件がある中、スクールバス運行についても十分に安全面に配慮し、見守り・点呼等、確認の計画重視を望む。</p> <p>○計画どおり事業を進められたい。</p>	
2 学校施設整備事業等の推進	<p>○空調設備について不備な教室は今後も早急に整備するなど今後も教育環境の整備に努められたい。</p>	
3 GIGAスクール構想の推進	<p>○GIGAスクール構想は新たな学び方を目指す重要な課題である。その基盤を支えるシステムのメンテナンスについては常駐の担当者の配置も含めて体制の充実を望む。</p>	
4 修学の支援等	<p>○奨学金制度の再検討においては、申請にかかる条件等を考慮し、修学の保障につなげられたい。</p> <p>○中学校クラブ遠征参加補助について、100%補助できたことは評価できる。伊賀市は公共交通機関の利用が難しい地域であることから、生徒の大会参加の支援はぜひとも継続されたい。</p>	

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和3年度実績値	令和3年度目標値		
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21	創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり  創造的で活力ある園づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業  * 各小中学校(園)に学校運営協議会を設置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。 * 学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。 * 学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。 * 学力向上推進事業、人権同和教育研究事業、キャリア形成事業の三事業を実施し、各小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。	設置者による評価値 小中学校 83.5点 幼稚園 93.9点  市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:88.9%  「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:96.4%	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点  市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%  「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:97%	継続	
	2・22	確かな学力の形成  生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	* 各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。 * 中学校1年生で標準学力検査を実施した。 * 学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。 * 学力向上支援事業(市費)を充実させる。 * 「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、各小中学校に配付した。 * 全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。 * 一人一台端末をはじめICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組んだ。	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:100.9 中学校:99.2	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:105.0 中学校:100.0	継続
			教職員研修経費	* 部会別教育研究活動の充実を図った。 * 夏季教育講演会を開催した。 * 研究指定校研究推進事業の充実を図った。(府中小・成和東小・他)4校 * 一人一台端末を活用した授業づくりについての教職員研修を実施した。	研修講座への参加人数 参加者数:984人	研修講座への参加人数 参加者数:1,500人	継続
	3・24	人権同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成  人権同和教育の推進	人権同和教育推進事業	* 伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 * 幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校  学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:3.3回	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校  学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上	継続
4	キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	* 小学校段階からの教育活動全体を通じた組織的・継続的な取組を推進した。「キャリア・パスポート」の活用 * 各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。 * 「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、専門家や企業側からみたキャリア教育のあり方を示してもらい、小中連携の意義を再確認し、今後の方向性を示した。 * 「自分発見!中学生・地域ふれあい事業」において、全中学校で職場体験活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した。その内容を補うものとして、地元企業からゲストティーチャーを招聘したりして、将来の夢や職業、働くこと等、自分の生き方について考える活動に取り組んだ。	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:-%  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により職場体験実習を中止したため。	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:90%	継続	

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	7・23 生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成  豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。</li> <li>*スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援をおこなった。</li> <li>*全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を2回実施し、児童生徒の個別の状態や学級集団の状態を把握し、個別の指導や学級経営に活用するように努めた。</li> <li>*全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制づくりに努めた。</li> </ul>	小中学校における問題行動発生件数:22件	小中学校における問題行動発生件数:0件	継続
	8・28・29 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進  教育相談の実施  不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。</li> <li>*不登校の実態把握、教育相談に関わる教職員研修を実施した。</li> </ul>	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:82.1%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:100%	継続
	10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付、「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保するように努めた。</li> </ul>	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:22件	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:0件	継続
	11・26 特別支援教育の充実  個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。</li> <li>*児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。</li> </ul>	教育支援員・特別支援教育支援員配置:56人	教育支援員・特別支援教育支援員配置:50人	継続
	13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*初期適応指導教室(チャレンジ教室)の運営した。</li> <li>*「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。</li> <li>*日本語指導者研修会の開催した。</li> <li>*外国人児童生徒日本語指導補助員の配置した。</li> <li>*日本語指導コーディネーターを派遣した。</li> <li>*通訳派遣、翻訳支援を実施した。</li> <li>*外国人児童生徒の学習支援(漢字検定補助等)を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:95.2%</li> <li>・漢字検定 外国人児童生徒の受検率60.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:90%</li> <li>・漢字検定 外国人児童生徒の受検率50%</li> </ul>	継続
	14 外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*JETプログラム事業におけるALTの各中学校へ派遣した。</li> <li>*直接任用による外国語活動指導助手を各小学校へ派遣した。</li> <li>*小学校外国語指導者研修会を実施した。</li> <li>*「英語力向上プロジェクト」(英語検定補助)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.8日</li> <li>・中学3年生における英語検定3級以上合格率38.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.2日</li> <li>・中学3年生における英語検定3級以上合格率30%</li> </ul>	継続

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
に子どもやも希望たちが、未来	27 教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 教育研究センターの管理運営を行った。</li> <li>・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。</li> <li>・教職員、学校、地域の連携の支援に努めた。</li> </ul>	会議室使用延べ人数:9,485人	会議室使用延べ人数:10,800人	継続
子どもたちが、安心して学べる	20 学校給食の充実	学校給食管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品、特に伊賀産を積極的に使用した。また、いがスマイル給食の取り組みでは、児童・生徒に伊賀市の特産品を知ってもらえるよう献立表等でお知らせをしたり、DVDを活用した。</li> <li>* 児童の施設見学、学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通しての食育を実施した。</li> <li>* 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食を知ってもらった。</li> <li>* 調理場から出る食材の不可食部、学校から戻る残食を検査することで、実態を把握した。また、その結果を食育指導に生かし、「食品ロス」等にも触れた。</li> <li>* 児童のリクエストメニューを提供した。</li> </ul>	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均) 3センター平均: 33.9%	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均) 3センター平均: 30.0%以上	継続

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり  創造的で活力ある園づくりの推進	<p>○多くの保護者が積極的に学校運営に関わっていると感じているのは好ましい。コロナ禍の制約の中とはいえ、今後も真摯な意見のやり取りを維持してほしい。</p> <p>○コロナ禍において、地域の方々が学校に集まることができなかったが、今後、徐々に緩和し地域に開かれた学校づくりを目指していただきたい。コミュニティスクールの各地区での充実がとて大切であることから、学校運営協議会組織を活用し、一層、地域が学校をサポートする機運を高められたい。</p> <p>○学校マニフェストには教職員の就業環境の改善にも言及されているとのことである。教員の就業環境の改善は喫緊の課題であり、教員の職務範囲の精査と職種間の適切な業務分担などにより、所与の条件の中でできる限りの改善を図られたい。</p>	
2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	<p>○タブレットのオンライン授業は全校で頻度の差が出ないように配慮されたい。活用を継続し、子どもたちに将来につながるノウハウを身につけさせてほしい。</p> <p>○家庭学習の時間が少ない、読書量が少ない、ゲームスマホに費やす時間が多いという課題が解消されないという報告が続いている。家庭での学習課題については学校での工夫を、読書活動やゲームスマホ時間については家庭や地域を巻き込んで理解と協力を得ながら対策を図られたい。</p> <p>○校外のリソースの活用、例えば専門性を有する人の授業への招聘、地域のミュージアムや図書館との協働は子どもたちの考える力の育成に有効な手段と思われる。既に実績のあるキャリア教育などにとどまらず、学力向上推進に位置付けることを検討してほしい。</p> <p>○学力向上を目指すことは非常に重要であることから、全国平均に甘んじず少しでも上を目指されたい。また、小学校より中学校の方が全国比より下がっていることがとても懸念される。</p> <p>○端末活用授業に秀でた教員がいる学校、いない学校で差が出ないように、各教員が同レベルの知識、技術を修得できる研修を望む。</p> <p>○若手教員と短時間勤務の再任用教員の増加によって、教科指導力の低下と教育活動に対する共通理解に温度差が生じるのではないかと懸念する。若手教員等への研修を充実されたい。また、教職員研修の機会を保障するための勤務体制を考慮されたい。</p>	

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

努力目標		令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
3 ・ 24	人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成  人権・同和教育の推進	<p>○人権の重視や多様性の理解を唱えていても、実際に事態に直面すると偏見に基づいて判断する人が依然多いことは否めない。今後ともたゆまぬ活動と努力を継続されたい。</p> <p>○各校の人権教育カリキュラムは、常に目の前の子どもたちの事実からスタートし、子どもたちの豊かな人権感覚を育むものであって欲しい。</p> <p>○他市出身の教職員が増えている現状において、伊賀市が培ってきた人権同和教育を学ぶ研修の機会には積極的に参加されたい。</p>	
4	キャリア教育の推進	<p>○職場体験活動は重要であるため、コロナ感染状況を見ながら再開されることを望む。職場体験の代替活動として、地元の職業人や企業から直接実体験を聞くことも子どもにとって貴重な体験である。コロナ禍において別の方法も模索し、有意義な企画を増やし、継続されたい。</p> <p>○コロナ禍、将来を描きにくいと訴える子どもたちが多く、高等学校でようやく自分探しを始める生徒もいる。義務教育の場と今後の進路先とが連携したキャリア教育も考慮されたい。</p>	
7 ・ 23	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成  豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	<p>○社会状況が複雑化していく中で、現状を的確に把握し適切な対応をされたい。</p> <p>○関係機関等の連携、活用も必要であるが、児童生徒をより深く理解するために、まずは学校での教育相談と保護者との連携を見直していく必要を感じている。教職員一人一人の教師力の向上を期待する。</p> <p>○社会や家庭の問題に起因する子どもたちの困難を学校で発見することは、職員に過重な責を負わせないと留保を付けてもなお期待されることはまぬかれないであろう。近年認知が広がってきた子どもの貧困ヤングケアラーの問題を含めて、問題の態様や困難を抱える子どもの支援体制について多様な学校関係者が認識を共有できるよう、研修機会の充実を図られたい。</p>	
8 ・ 28 ・ 29	不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進  教育相談の実施  不登校児童生徒の支援	<p>○「不登校」には様々な意味がある。児童生徒個々の願いをしっかりと受け止め、心の居場所を保障されたい。</p> <p>○不登校の形態が多様化して、再登校することが必ずしも最善の策と言えないことも理解できる。不登校のまま小学校・中学校(高等学校)を終えた場合、上の学校への進学に関し様々な困難があると思うが、一人でも多く進路保障につながるサポートに努力を継続、充実されたい。</p> <p>○社会状況が複雑化していく中で、取り残された児童・生徒がいないような教育環境が必要である。「ふれあい教室」へも行けない児童・生徒への対応など、根気強くあたたかい支援をされたい。</p>	
10	子どもたちの安全・安心の確保	<p>○サポーターの配置はとても重要であり、多くの方々への協力を期待する。</p>	
13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	<p>○初期適応指導教室(チャレンジ教室)や進学ガイダンスなど長年の努力に敬意を表す。かつて「外国にルーツを持つ児童生徒」であった人たちが伊賀市内で多く社会人となり、親となっているが、そうした先輩たちの体験を子どもたちの勉学・進学・就職サポートに有意義に活かして欲しい。</p>	

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
<p>14 外国語教育の推進</p>	<p>○中学生の外国語学習意欲を広範囲に高めるため、授業以外で生徒が関わる市のイベント、交流事業などで外国語に触れ、外国語を学ぶ意欲を促す企画を増やすことが望まれる。</p> <p>○小学校外国語教育については、中学校で学ぶ英語科とつながる英語教育を期待する。</p> <p>○英語科以外に体育科や音楽科などでALTを活用する余地がないか検討されたい。英語を学ぶより英語で学ぶ方が英語力の向上が期待される。</p> <p>○ALTの派遣日数は増えているが、英検3級の合格率は思わしくないのではないか。</p>	
<p>20 学校給食の充実</p>	<p>○食足りて礼節を知るの言葉どおり、給食の実施は児童生徒の落ち着いた学校生活につながっている。コロナ禍で施設見学は実現しにくかったと思われるが、調理に携わっていただく人々のことや栄養価を考慮しながら地元食材を活用した給食に感謝をしていただく食育をさらに進め、環境教育の観点からも、食品ロスの減少を今後も努められたい。</p> <p>○地場産業食材の使用に関しては努力が伺えるが、食品ロスと不揃いの食材の使用についての教育・指導を充実されたい。</p>	



努力目標評価シート

生涯学習課

施策	努力目標		取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
					令和3年度実績値	令和3年度目標値	
ち生涯活動を通じ、生きがいを持つ	1	社会教育の推進	成人式開催経費	*令和4年1月9日(日)に新成人を祝う式典を中学校区別(9会場)に開催した。昨年度に引き続き広い会場への変更や来賓招待の代替としてメッセージビデオ放映など、コロナ感染対策のための様々な禁止や条件を付ける等を実施した。	参加率:76.53%	参加率:80%	継続
	3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業	*上野公民館分館に配置の社会教育推進員を対象に研修等を行った。 *人材育成講座として読み聞かせボランティア入門講座を開催した。 *住民自治協議会等研修会を開催した。	参加者数:320名 (うちオンライン参加者数:39名)	参加者数:350名	継続
部落差別をなくす	4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	教育集会所交流事業	*伊賀市教育集会所小学生交流事業「みんなよっといで!!6年生」を開催した。 *伊賀市教育集会所中学生交流会を開催した。 *伊賀市教育集会所高校生・青年人権学習交流会を開催した。 *伊賀市教育集会所保護者の部落問題学習会を開催した。	参加者数:286名	参加者数:250名	充実
	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	*関係機関と連絡調整を図り、人権同和教育推進活動を行う。 *講演会、研修会、研究大会を開催した。	参加者数:11,125人	参加者数:8,500人	継続
				(いがまち) ①学校人権同和教育研究会補助等 ②小中学校交流会補助	①12部会の開催回数:60回 ②開催回数:小学校4.5.6年中学校1.2.3年各1回 参加者数:456人	①12部会の開催回数:60回 ②開催回数:小学校4.5.6年中学校1.2.3年各1回 参加者数:350人	
				(いがまち) *人権パネル展示 *人権図書コーナー設置 *公民館人権講演会	開催回数:5回 参加者:2000人 蔵書数:370冊 開催回数:中止	開催回数:5回 参加者:2800人 蔵書数:370冊 開催回数:1回 参加者数:50人	改善
				(阿山) *人権作文・ポスター展示 *人権パネル展示 *人権図書コーナー設置 *人権同和教育問題学習講座	開催回数:1回 来館者数:不明 開催回数:10回 来館者数:8,002人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:中止	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500人	
				(大山田) *人権パネル展示 *人権図書コーナー設置 *文化講演会 *サークル団体等人権研修会	開催回数:7回 蔵書数:265冊 開催回数:中止 開催回数:中止	開催回数:10回 蔵書数:265冊 開催回数:1回 参加者数:40人 参加者数:20人	
(青山) *人権パネル展示 *人権図書コーナー設置 *公民館人権研修会	開催回数:9回 参加者数:263人 開催回数:通年 開催回数:中止	開催回数:8回 参加者数:1,500人 開催回数:2回 開催回数:2回 参加者数:110人					

努力目標評価シート

生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
子どもや若者が、健やかに成長する	5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 第14回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発した。 * 子どもたちに読書に親しむ機会を提供するとともに、家庭での読書活動の大切さについて啓発し、子どもの読書活動を推進した。 * 伊賀市青少年ネットワークづくり研修会・伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会等を開催した。 * 青少年健全育成推進大会を開催した。 * 伊賀市青少年育成市民連絡会議の活動を補助し、世代間交流、自然体験学習など各地区の特色を生かした事業の実施を支援した。 * 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を計画した(コロナで中止)。	青少年健全育成推進大会参加者数:88人	青少年健全育成推進大会参加者数:150人	改善
			* 上野児童福祉社会連合会に委託し、遊び文化・生活文化・自然環境を考えること等を大切に、よりよい子ども社会構築のための事業を実施した。	開催回数:1回、参加者数:34人	開催回数:7回、参加者数:500人	
			(いがまち) ①夏、冬の体験教室  ②小中学生下校時パトロール ③非行防止夏季夜間パトロール	①開催回数:1回 参加者数:26人 (冬は中止)  ②開催回数:10回 参加者数:26人 ③開催回数:1回 参加者数:40人	開催回数:2回 参加者数:40人(夏季) 参加者数:80人(冬季)  開催回数:18回 参加者数:45人 開催回数:1回 参加者数:50人	改善
			(島ヶ原) ①青少年非行防止パトロール ②非行防止事業 ③体験型学習	①開催回数:10回 参加者数:20人 ②開催回数:1回 参加者数:19人 ③開催回数:10回 参加者数:239	開催回数:25回 参加者数:80人 開催回数:1回 参加者数:20人 開催回数:20回 参加者数:500人	
			(阿山) ①青少年非行防止パトロール ②人づくり市民会議事業連携	①開催回数:1回 参加者数:6人 ②開催回数:20回 参加者数:不明	開催回数:4回 参加者数:70人 開催回数:18回 参加者数:700人	
			(大山田) むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:0回 コロナのため中止	開催回数:6回	
			(青山) * 小中学校下校時パトロール * 青山青少年育成会議事業連携	開催回数:5回 開催回数:中止	開催回数:15回 開催回数:11回	

# 努力目標評価シート

# 生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
子どもや若者が、健やかに成長する	5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 上野児童福祉会連合会に委託し、郷土の産業や伝統文化・環境など、さまざまな体験を通して、「誇れるふるさと」を学習するための事業を実施した。	開催回数:5回 参加者数:98人	開催回数: 7回 参加者数: 140人	改善
			* 3つの放課後子ども教室の活動支援を行い、市内の新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて活動を実施した。(4教室のうち、1教室は令和3年度より開設、1教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため1年間活動休止) * 伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を3月に開催した。	教室1回あたりの平均利用児童数(3教室計):10人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計):80人	改善
		青少年センター運営経費	* 街頭補導活動(定時補導・随時補導・特別補導・協助手補導)を実施した。 * 電話および面談による青少年相談活動を実施するとともに、その周知に努めた。 * 環境浄化活動とし、コンビニエンスストア・書店・小売店等に、低俗な広告物・有害玩具・有害図書・不良環境の排除等への協力を依頼した。	補導人数:15人	補導人数:10人	改善

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 社会教育の推進	○各会場での工夫・努力が続いていることを評価したい。今後、18歳の式典に変わった場合、20歳の式典の踏襲でなく、18歳にふさわしい内容になるよう十分議論を尽くしてほしい。  ○成人式の参加率は増加しているが、3年齢対象での開催でかなり数字が減少しないよう努力されたい。	
3 地域づくりの支援	○各市民センターに配属される支援員の技量によって、その地域の生涯学習活動の濃淡が生まれると予想される。地域住民の教室や展覧会、発表会ができるように支援員の意識向上、育成を望む。  ○各地区の支援員が、地域によって活動の差異が出ないような年間計画等を立て、地域によっては支援員の人数を調整されるよう望む。	
8 人権問題啓発活動の推進	○事業統合後、特に人権意識の学習機会の中で地域による差が出ないよう配慮されたい。	
5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	○青少年健全育成団体の活動が衰退しないように、指導・支援に努められたい。  ○各支所での事業の方向性に「改善」とあるが、青少年センターとの連携を考慮されたい。  ○子ども教室と児童クラブ一体型・連携型実現の努力を評価したい。場所的な問題は重要だと思うが、市行政全体の連携の中で、子どもの視点に立った解決策を望む。	

努力目標評価シート

公民館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和3年度実績値	令和3年度目標値		
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実 生涯学習推進事業	【上野公民館】	開催回数:29回 参加者数:570人	開催回数:26回 参加者数:1000人	改善	
			通年講座(悠々セミナー・ダンスフィットネス・体を使って脳トレEnglish)、歴史・文学講座、地域出前講座、はじめてのリモート講座、定住自立圏連携事業	開催回数:10回 参加者数:72人	開催回数:8回 参加者数:140人		
			初めての講師サポート事業	開催回数:4回 参加者数:71人	開催回数:4回 参加者数:100人		
			親子体験講座	参加者数:715人	参加者数:280人		
			千支の春展	サークル数:20 (中止)	サークル数:21団体		
			サークルまつり	回数:2回	回数:2回		
			公民館サークルの育成	分館数:22 事業数:189	分館数:22 事業数:200	完了	
			上野分館活動事業	【いがまち公民館】	開催回数:32回 参加者数:428人	開催回数:31回 参加者数:660人	改善
			公民館一般講座	開催回数:7回 参加者数:118人	開催回数:9回 参加者数:110人		
			公民館子ども講座	開催回数:29回 参加者数:406人	開催回数:30回 参加者数:450人		
			読み聞かせ会	-	回数:2回		
			やまなみ文化協会育成	開催回数:1回 参加団体数:9団体	開催回数:1回 参加団体数:12団体		
やまなみ文化祭	開催回数:1回 出展者数:263人	開催回数:1回 出展者数:800人					
いがまち展覧会	【島ヶ原公民館】	開催回数:20回 参加者数:301人	開催回数:24回 参加者数:350人	改善			
健康体操教室・園芸教室・初心者のパソコン教室・彩々教室	開催回数:8回 参加者数:392人	開催回数:20回 参加者数:600人					
絵本の読み聞かせ教室	中止	開催回数:1回 参加者数:100人					
文化サークルまつり演芸会	中止	開催回数:1回 参加者数:600人					
文化作品まつり展覧会	回数:2回	回数:3回					
公民館サークルの育成	【阿山公民館】	開催回数:3回 参加者数:47人	開催回数:6回 参加者数:100人				
一般対象講座	開催回数:10回 参加者数:116人	開催回数:33回 参加者数:400人	改善				
子ども対象講座	中止	開催回数:1日 参加者数:450人					
あやま芸能まつり							

努力目標評価シート

公民館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	生涯学習推進事業	【阿山公民館】			改善
			あやま展覧会	開催回数:3日 参加者数:669人	開催回数:3日 参加者数:1,000人	
			公民館サークルの育成	-	回数:6回	
			読み聞かせ会	開催回数:10回 参加者数:44人	開催回数:24回 参加者数:100人	
			【大山田公民館】			
			一般対象講座	開催回数:19回 参加者数:244人	開催回数:20回 参加者数:300人	
			子ども対象講座	開催回数:10回 参加者数:156人	開催回数:10回 参加者数:200人	
			リズム運動教室(園児対象)	開催回数:6回 参加者数:192人	開催回数:6回 参加者数:200人	
			サークルの育成	-	回数:3回	
			芸術文化祭(芸能大会)	中止	参加団体数:7団体	
			芸術文化祭(展覧会)	中止	出展者数:750人	
			読み聞かせ会(図書室)	-	開催回数:24回 参加者数:240人	
			読み聞かせ会(大山田小学校)	-	開催回数:30回 参加者数:1,100人	
			読み聞かせ会(子育て支援センター他)	-	開催回数:3回 参加者数:120人	
			【青山公民館】			
			出前講座(穂月明作品写真パネル各センター巡回展示)	開催回数:6回 参加者数:50人	開催回数:6回 参加者数:300人	
			まなびあおやま(一般)講座	開催回数:1回 参加者数:6人	開催回数:15回 参加者数:250人	
			まなびあおやま(子ども)講座	開催回数:1回 参加者数:6人	開催回数:6回 参加者数:220人	
			図書室公開講座『おはなし広場』	中止	開催回数:4回 参加者数:200人	
			地域芸術向上支援事業	開催回数:9回 参加者数:103人	開催回数:4回 参加者数:150人	
			地域学習講座	開催回数:1回 参加者数:16人	開催回数:4回 参加者数:300人	
			読み聞かせ会(図書室)	開催回数:7回 参加者数:22人	開催回数:12回 参加者数:100人	
			文化サークル連協芸能発表会	中止	開催回数:1回 参加者数:400人	
			ふるさと美術文化展覧会	開催回数:1回 参加者数:328人	開催回数:1回 参加者数:410人	
			公民館サークルの育成	回数:3回	回数:3回	
			青山分館活動事業	分館数:6 事業数:39	分館数:6 事業数:48	完了

# 努力目標評価シート

# 公民館

努力目標		令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	○(各公民館共通) 公民館がなくなることの市民に対する損失は計り知れないものである。公民館の廃止とコロナ禍によって、各公民館で活動していたサークル活動の衰退が危惧される。発表の場の支援等を望む。	

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和3年度実績値	令和3年度目標値		
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ) 崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の人権同和教育を推進した。令和3年度も崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタはコロナ禍により中止になりました。(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)	(八幡) 開催中止	(八幡) 開催回数: 1回 参加者数: 2,000人	充実	
			* 人権同和教育相談事業 人権同和教育の推進と併せて、保護者からの相談の機会として開設し、対応した。(各集会所では随時対応)	(寺田) 開催回数: 15回 参加者数: 15人	(寺田) 開催回数: 10回 参加者数: 10人		
			* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート * 寺田フィールドワーク * 小中人権同和教育講演会	(寺田) 開催回数: 6回 参加者数: 471人(人権トーク&コンサートは中止)	(寺田) 開催回数: 6回 参加者数: 1,200人		
			* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会	(寺田) 開催回数: 10回 参加者数: 478人	(寺田) 開催回数: 9回 参加者数: 500人		
			* 寺田教育を考える保護者の会 * 保小中高連絡会 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会	(寺田) 開催回数: 25回 参加者数: 459人	(寺田) 開催回数: 30回 参加者数: 400人		
			* 伊賀地区校区連絡会議	(前川) 開催回数: 10回 参加者数: 117人	(前川) 開催回数: 10回 参加者数: 130人		
			* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数: 3回 参加者数: 84人	(奥馬野) 開催回数: 3回 参加者数: 95人		
			* 青山学校同和教育推進委員会	(老川) 開催数: 年9回 延べ参加者数: 90人	(老川) 開催数: 年11回 延べ参加者数: 110人		
			* 保小中同和教育実践交流会	(老川) 開催数: 年6回 延べ参加者数: 177人	(老川) 開催数: 年5回 延べ参加者数: 100人		
			* 推進委員会 * 実践報告書作成 * 推進委員会だより発行	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回		
		人権教育推進事業	* 生活講座、識字教室 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品製作を通じて行った。	(八幡)識字教室 開催回数: 41回 参加者数: 169人	(八幡)識字教室 開催回数: 48回 参加者数: 340人		継続
				(前川) 開催回数: 58回 参加者数: 977人	(前川) 開催回数: 90回 参加者数: 1000人		
				(奥馬野) 開催回数: 20回 参加者数: 181人	(奥馬野) 開催回数: 37回 参加者数: 270人		

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性	
				令和3年度実績値	令和3年度目標値		
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事	* 生活講座、識字教室	(老川) ・生活講座 開催数:年19回 延べ参加者数 116人 ・識字教室 開催数:年16回 延べ参加者数 88人 ・パソコン教室 開催数:年16回 延べ参加者数 78人	(老川) ・生活講座 開催数:年20回 延べ参加者数 110人 ・識字教室 開催数:年20回 延べ参加者数 110人 ・パソコン教室 開催数:年20回 延べ参加者数 110人	継続
				* 小学生地区学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶことで誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。	(八幡) 開催回数:23回 参加者数:621人	(八幡) 開催回数:32回 参加者数:1,000人	
				* 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室を実施した。	(寺田) 開催回数:27回 参加者数:383人 (寺田教科学習会) 開催回数:26回 参加者数:192人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:25回 参加者数:64人	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:600人 (寺田教科学習会) 開催回数:30回 参加者数:140人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:65回 参加者数:600人	
				* 小学生地区学習会	(下郡) 開催回数:29回 参加者数:336人	(下郡) 開催回数:40回 参加者数:450人	
					(前川) 開催回数:30回 参加者数:845人	(前川) 開催回数:40回 参加者数:720人	
					(奥馬野) 開催回数:24回 参加者数:628人 (ライトピア子ども会) 開催回数:6回 参加者数:73人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:800人 (ライトピア子ども会) 開催回数:10回 参加者数:120人	
				* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、自分達で活動する大切さを学習することができた。	(八幡)中学生地区 学習会 開催回数:28回 参加者数:370人	(八幡)中学生地区 学習会 開催回数:36回 参加者数:440人	
					(下郡) 開催回数:16回 参加者数:105人 (下郡高校生友の会) 開催回数:10回 参加者数:0人	(下郡) 開催回数:30回 参加者数:330人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:36人	



努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会	(寺田) 開催回数: 30回 参加者数: 336人 (寺田教科学習会) 開催回数: 40回 参加者数: 351人 (寺田高校生・青年友の会) 開催回数: 13回 参加者数: 60人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 4回 参加者数: 171人	(寺田) 開催回数: 35回 参加者数: 450人 (寺田教科学習会) 開催回数: 50回 参加者数: 310人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 15回 参加者数: 70人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 100人	継続
				(前川・中友) 開催回数: 29回 参加者数: 807人 (前川・高友) 開催回数: 48回 参加者数: 355人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 1回 参加者数: 17人	(前川) 開催回数: 90回 参加者数: 1,000人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 3回 参加者数: 80人	
				(奥馬野) 開催回数: 26回 参加者数: 458人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数: 5回 参加者数: 41人	(奥馬野) 開催回数: 30回 参加者数: 600人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数: 8回 参加者数: 60人	
			* 人権教育講演会、学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、地域における人権同和教育をすすめるために、様々な機会をとらえて人権同和教育問題に対する講演会や学習会を開催している。 一部の講座等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止した。	(八幡) 開催中止	(八幡) 開催回数: 2回 参加者数: 120人	
				(下郡人権と平和学習会) 開催回数:【展示会】1回 参加者数: 81人 (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 50人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 5回 参加者数: 78人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 130人 (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 100人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 1回 参加者数: 70人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 1回 参加者数: 60人	
				(前川・特別解放講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(前川) 開催回数: 1回(特別解放講座) 参加者数: 100人	
				(老川) 開催数: 年1回 延べ参加者数: 24人	(老川) 開催数: 年3回 延べ参加者数: 200人	

# 努力目標評価シート

# 教育集会所

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
<p>9 人権同和教育の推進</p>	<p>○(教育集会所事業全般) 差別をなくす仲間づくりの支援とリーダーの育成に今後も努められたい。</p> <p>○中学校区全体を巻き込んだ啓発イベント、懇談会や連絡会議、実践交流会、小中学生の地区学習会、児童生徒青年をつなげたリーダー育成等々、教育集会所が部落差別解消に向けた取組の拠点となっていることを市民に対し積極的に発信されたい。</p> <p>○(教育集会所事業全般) コロナ禍で開催できなかつたり規模を縮小した事業が多々あったが、部落差別の完全解消へに向けた取組はぜひとも維持、継続されたい。</p>	

努力目標評価シート

文化財課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指 標		方向性	
				令和3年度実績値	令和3年度目標値		
歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 文化財の調査・指定及び活用の推進	文化財保存経費	* 文化財保護審議会(2回)、市指定有形文化財旧上野市庁舎保存活用計画策定検討委員会(2回)を開催し、文化財指定の審議や旧上野市庁舎の保存・活用の検討を行った。 * 指定文化財の調査・管理を実施した。(76件) * 指定文化財の説明看板を1カ所(甲野極楽寺)設置した。 * 文化財年報を発行(300冊)するとともに、書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。	文化財調査76件	文化財調査50件	継続	
		文化財施設維持管理	* 直営1館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。	入館者数 13.67人/日	入館者数 10.00人/日	継続	
		歴史的風致維持向上計画進捗管理事業	* 伊賀市歴史的風致維持向上計画に基づき、法定協議会(2回)、庁内会議(1回)を開き、歴史まちづくりを進めた。 * 重点区域内において、歴史的風致維持向上形成建造物の指定を推進した。	計画進捗率31%	計画進捗率35%	継続	
		文化財保存活用地域計画作成事業	* 庁内検討会議(2回)及び協議会(2回)の開催、市民アンケートの実施により、文化財保存活用地域計画作成事業を推進した。	事業進捗40%	事業進捗35%	継続	
	2 有形文化財の保護・保存 3 民俗文化財の保護・保存	文化財保存事業	* 国重要無形民俗文化財 上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業及び同行事の保存管理事業を指導・助言・監督した。	事業進捗率100%	事業進捗率100%	継続	
			* 国重要文化財高倉神社本殿・境内社春日社本殿・境内社八幡社本殿の防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業を助言・指導・監督した。	工事進捗率100%	工事進捗率100%	完了	
			* 県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(組立工事・補修工事)を助言・指導・監督した。	工事進捗率86%	工事進捗率86%	継続	
	4	記念物(史跡・名勝天然記念物)の保護・保存	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会(1回)を開催し、指導・助言を得ながら保存整備工事を実施した。	史跡整備進捗率:50%	史跡整備進捗率:50%	継続
			国史跡上野城高石垣計測事業	* 国史跡上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数 6点		継続
			文化財保存経費	* 伊賀国庁跡、伊賀国分寺跡、長楽山廃寺跡、御墓山古墳の草刈り及び障害木の伐採を行い環境整備に努めた。 * 県指定天然記念物ノハナショウブ群落管理業務を実施した。 * 国特別天然記念物オオサンショウウオの保護に努めた。	進捗率100%		継続
	5	埋蔵文化財の保護と活用	埋蔵文化財発掘調査経費	* 西明寺地内の斎苑整備事業に伴い、西明寺遺跡の発掘調査を実施した。 * 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。	発掘調査件数1件 試掘調査件数6件 立会調査件数16件	発掘調査件数1件 試掘調査件数5件 立会調査件数5件	継続

# 努力目標評価シート

# 文化財課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
り歴史や未来へ文化遺産を引き継ぐ	6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	歴史資料保存管理経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民からの依頼で歴史資料を5件調査、収集し、目録を9件作成した。</li> <li>* 『広報いが市』に「伊賀の歴史余話」(6回)を掲載した。</li> <li>* 上野図書館・文化交流課とともにデジタルミュージアム「秘蔵の国 伊賀」を制作し、公開記念講演会(1回)を開催した。</li> </ul>	目録作成9件	目録作成10件	継続

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 文化財の調査・指定及び活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(文化財共通)市民に文化財や歴史に親しむイベント等を積極的に取り組まれない。</li> <li>○今後とも入館者数の増加に向け、広報・企画等の努力を期待したい。</li> </ul>	
4 記念物(史跡・名勝天然記念物)の保護・保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上野城高石垣の現状把握の取り組みを評価する。形状に変化が見られたときにどのように対処するのか、今のうちに工程表を作成して必要な時に迅速な対応ができるよう準備されたい。</li> <li>○生息場所を特定できない形でオオサンショウウオの観察件数や遺伝子検査結果などの情報を市民に提供することは、保護の機運醸成に有効と思われる。情報提供の方法を検討し、積極的に市民に発信されたい。</li> </ul>	
6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○断捨離や終活ブームを背景に、古文書・古い資料等の持込み増加が予想されるが、貴重なものとそうでないものを見分け、重要な資料を見逃さず、デジタル化等による保存の努力を期待したい。</li> <li>○デジタルミュージアムの公開を評価する。新しいミュージアムのあり方の一つとして継続的に充実させていくことを望む。</li> </ul>	

# 努力目標評価シート

# 図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1 市民の学習活動の支援	図書館管理経費 図書室管理運営経費 図書館の利用促進	* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休館を行った時期もあったが、感染症対策を実施して開館し、市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 「夜のとしよかん探検」などを通じて、図書館に興味を持ってもらう取り組みを行った。 * 忍者月間には「忍者図書館」と題し、忍者関連図書の特集コーナーの設置や企画展示を行ったり、岸宏子氏生誕100周年記念事業と連携した岸宏子作品紹介コーナーを設置するなど市内各課との連携により利用促進に繋がった。	貸出利用者数 計73,717人	貸出利用者数 計79,500人	充実
				上野:62,301人 いがまち:3,190人 島ヶ原:387人 阿山:2,113人 大山田:2,721人 青山:3,005人	上野:67,000人 いがまち:2,800人 島ヶ原:400人 阿山:2,500人 大山田:2,800人 青山:4,000人	
	2 利用者サービスの充実	図書の貸出	* 市広報紙や図書館だより、図書室広報誌等で、新着図書やおすすめ図書の紹介、催し物等開催の情報発信を行い、利用促進に繋がった。 * 図書館・図書室間の配送サービスや三重県立図書館等との相互貸借により利便の向上を行った。 * 地域の特性を活かした図書館(室)運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。 * 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、学校図書館との連携・支援を行った。 * 上野点字図書館と連携し、活字での読書が困難な方への録音図書の取次貸出や障がいがある方への郵送貸出に取り組んだ。	貸出冊数計 282,722冊 (うち児童書 127,006冊)	貸出冊数計 303,800冊 (うち児童書 129,100冊)	充実
				上野:240,835冊 (うち児童書:102,282冊) いがまち:11,746冊 (うち児童書:7,096冊) 島ヶ原:716冊 (うち児童書:298冊) 阿山:8,503冊 (うち児童書:5,146冊) 大山田:10,052冊 (うち児童書:6,214冊) 青山:10,870冊 (うち児童書:5,970冊)	上野:261,000冊 (うち児童書107,000冊) いがまち:10,000冊 (うち児童書5,600冊) 島ヶ原:800冊 (うち児童書400冊) 阿山:10,000冊 (うち児童書5,500冊) 大山田:11,000冊 (うち児童書5,600冊) 青山:11,000冊 (うち児童書5,000冊)	
		図書配送サービス	* 連携した図書館情報システムの運用や週3回の配送サービスの実施により、利便性の向上に繋がった。 * 上野図書館の準新刊など蔵書の一部を図書室に配置し、利用促進に取り組んだ。 * 市内小中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、児童生徒の図書利用促進に取り組んだ。	配送書籍冊数計 20,941冊	配送書籍冊数計 22,400冊	充実
				上野:8,142冊 いがまち:3,765冊 島ヶ原:591冊 阿山:2,678冊 大山田:3,119冊 青山:2,646冊	上野:8,000冊 いがまち:4,000冊 島ヶ原:800冊 阿山:3,100冊 大山田:4,000冊 青山:2,500冊	
	3 読書活動の支援と充実	読み聞かせ会等の実施	* 各ボランティア団体の協力による絵本や紙芝居の読み聞かせ会の実施により、子どもが本に親しむ機会づくりに繋がった。 * 小学校でのブックトークや読み聞かせ会の実施により児童の図書利用促進を行った。 * 多言語での読み聞かせ会を開催し、多様性に触れたり理解する機会づくりに繋がった。	開催数計 132回	開催数計 211回	充実
				上野:41回 いがまち:22回 島ヶ原:9回 阿山:10回 大山田:30回 青山:20回	上野:60回 いがまち:25回 島ヶ原:21回 阿山:24回 大山田:57回 青山:24回	

# 努力目標評価シート

# 図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指 標		方向性
				令和3年度実績値	令和3年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3 読書活動の支援と充実	特集コーナーの設置	*「読書週間」や「差別をなくす強調月間」などの取り組み期間や時事情報などに関連する特集コーナーを設置し、利用促進を繋げた。 *上野図書館が所蔵する貴重資料の企画展示を行い、郷土史の周知に努めた。	特集実施数計 133回	特集実施数計 125回	充実
				上野:51回 いがまち:12回 島ヶ原:2回 阿山:30回 大山田:29回 青山:9回	上野:50回 いがまち:15回 島ヶ原:13回 阿山:12回 大山田:20回 青山:15回	
	読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	*第17回読書感想文コンクールを実施し、読書活動の推進を行った。	応募数:245点	応募数:330点	充実	
	4 資料の収集と活用の推進	資料の収集と活用	*市民からのリクエストや司書が選書した図書を購入し、資料の充実に努めた。 *上野図書館が所蔵する貴重資料の一部をデジタル化し、デジタルアーカイブ「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」によりインターネット上での公開や、古文書に関するレファレンス(調べもの相談)に取り組むことで資料の活用を行った。	図書購入冊数計6,181冊	図書購入冊数計5,420冊	充実
		上野:5,762冊 いがまち:108冊 島ヶ原:17冊 阿山:105冊 大山田:116冊 青山:73冊	上野:5,000冊 いがまち:100冊 島ヶ原:20冊 阿山:100冊 大山田:100冊 青山:100冊			

努力目標	令和3年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
3 読書活動の支援と充実	<p>○子どもたちが身近に本に親しむ機会の充実のためには、「読み聞かせ団体」の存在は大きく、新型コロナウイルスの感染対策等を取りながらの読み聞かせボランティア活動は評価したい。今後もボランティア団体の育成、支援をお願いしたい。</p> <p>○時機を得た特集コーナーの設置、企画展示は所蔵資料の活用や図書館の利用促進にも繋がり、その努力を評価する。一層の充実を図り、今後とも図書館が市民の集う場所であり、まちづくりの拠点の一つとして機能することを目指されたい。</p> <p>○読書感想文コンクールは重要であり、継続して推進されたい。</p> <p>○学力向上に関わる課題として、読書量の少なさがある。読書感想文をきっかけに、学校教育課と連携して課題解決につなげてほしい。その際は、読書で得た様々な想いを表現する方法のアドバイスもされたい。</p> <p>○読書活動啓発事業のさまざまな取り組みがある中で、低学年向けの「読書感想文の書き方等」の講座又はワークショップ等を開催して、読書や文章を書くことへの楽しさと、意欲向上できるような啓発事業を望む。</p>	
4 資料の収集と活用の推進	<p>○今話題の本、今人気の本を手にとることから読書活動がスタートする。活字離れ克服のため、旬の本の購入冊数を増やすことも検討されたい。</p> <p>○レファレンスサービスの充実は重要であり、一層スキルアップされたい。デジタルアーカイブの啓発をされたい。</p>	